

令和7年度 市川市献血推進協議会 会議録

令和7年7月31日（木）午後2時～午後3時
市川市役所第1庁舎 6階 理事者控室

【出席者】

千葉県市川健康福祉センター	副センター長	松戸 滋
市川市消防局	次長	白岩 隆二
市川市	保健部長	横山 京子
市川市医師会	理事	奥井 秀由起
市川市薬剤師会	副会長	青野 匡宏
千葉県立市川工業高等学校	校長	青柳 昭
市川商工会議所	議員	高根 英樹
TDK株式会社	テクニカルセンター総務部長	渡辺 浩
市川港開発協議会	事務局長	山口 貴豊
市川市赤十字奉仕団	副委員長	立石 敬子
行徳ライオンズクラブ	会員	今井 智茂
市川南ロータリークラブ	会員増強委員長	藤原 孝夫
市川市自治会連合協議会	理事	日光 三代治
市川市PTA連絡協議会	理事	東 詩央里

千葉県赤十字血液センター

(事務局)

市川市保健部保健医療課

《会議次第》

1. 開会
2. 会長及び副会長の選任
3. 議題
 - (1) 令和6年度 献血推進事業報告について
 - (2) 令和6年度 決算報告について
 - (3) 令和7年度 献血推進事業計画及び進捗状況について
 - (4) 令和7年度 予算（案）について
4. その他
 - (1) 赤十字血液センター事業について
5. 閉会

《開会》

〔保健部保健医療課長挨拶〕

〔会議の成立〕

〔会議の公開〕

【事務局】

それでは会長及び副会長の選任に移ります。今年度は本協議会委員の改選年であり、本協議会の会長及び副会長を新たに決める必要があります。会長、副会長の選任につきましては本協議会要綱第3条第3項の規定により、委員の互選により定めることとなっております。つきましては、委員の皆様で自薦または他薦がございますでしょうか。

【今井委員】

日頃より献血活動に熱心に取り組まれ、前期に副会長を務められた青野委員を会長に推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

異議なし

【事務局】

青野委員お引き受けいただけますか。

【青野委員】

重責ですが、謹んでお受けします。

【事務局】

ありがとうございます。それでは、会長は青野委員にお願いいたします。
次に副会長ですが、自薦または他薦がございますか。

【青野会長】

医師会ご推薦の奥井委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】

奥井委員、お引き受けいただけますか。

【奥井委員】

謹んでお受けします。

【事務局】

それでは、会長と副会長が選任されましたので、この後の議事進行は青野会長にお願いしたいと思います。
ありがとうございました。

〔会長挨拶〕

〔副会長挨拶〕

〔委員自己紹介〕

〔千葉県赤十字血液センター挨拶〕

〔事務局挨拶〕

議題(1) 令和6年度 献血推進事業報告について〈保健医療課主幹説明〉

市川市資料(1 ページ)「令和6年度 献血推進事業報告」を参照

内訳にある市主体とは、市の施設を会場として、主に市の職員を対象に実施した献血で、血液センター主体とは、駅前や民間事業所、学校等、市施設以外で実施する献血のことです。

(1). 主体別の目標及び実績について

令和6年度の市主体の実施については、市役所第1庁舎、第2庁舎、行徳支所、クリーンセンター、消防局において、延べ14回実施しました。その結果、1本200mlを基準とした換算本数では1,153本の目標数に対し、実績は1,006本で、達成率は87.3%となりました。

血液センター主体の実施については、延べ79回実施し、換算本数では9,402本の目標数に対し、4,830本の実績で、達成率は51.4%となりました。

市全体では55.3%の達成率となりました。

(2). 献血実績(区分別)について

各区分における会場1回あたりの採血者数は、市主体が36.3人、血液センター主体については31.5人となり、市全体では、採血者数の合計は3,000人、1回あたり32.3人となっております。

なお、受付後の問診等により、体調不良(ヘモグロビン濃度の不足)により採血ができなかった不適者数は全体で531人、不適者率は15.0%でした。

市川市資料(2 ページ) (3)「献血実績の推移」を参照

献血者数と換算本数の直近5年間の実績等の推移について、令和6年度の献血者数は、前年度に比べて85人増、換算本数132本増となりました。

市川市資料(3 ページ) (4)「令和6年度 市町村別献血状況」を参照

令和6年度における千葉県内各市町村の目標献血者数に対する達成率を高い順に並べたものです。

市川市の実績は、献血者数は3,000人となり県内8位ですが、目標に対する達成率が約56%で、達成率順では県内54市町村の中で51位となっています。

市川市資料(4 ページ) (5)「令和6年度 献血実績(職業別)」を参照

職業別の献血者数を示したものです。

職業別については、会社員等が57.3%となっています。

市川市資料(5 ページ) (6)「令和6年度 献血実績(年代別)」を参照

年代別の献血者数を示したものです。

50代の献血者が最も多く、最も少ない年代は10代となっており、千葉県全体の比率とほぼ同様となっています。

市川市資料(6 ページ)(7)「令和 6 年度 献血の普及に関する主な取り組み」を参照

市の献血普及に関する取り組みとしては、市広報や市公式ウェブサイトへの掲載のほか、LINE や X などの SNS、電光掲示板などを活用して広報活動を行っています。

また、市役所庁舎で献血を実施する際には、ポスター掲示や庁内アナウンスで周知を行っています。

【青野会長】

ご質問ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

【青柳委員】

達成率の算出方法について、単純に市主体と血液センター主体を足して2で割るわけではないのでしょうか。

【事務局】

おっしゃるとおりです。目標については千葉県の献血計画(合計欄の目標)があり、それを市主体と血液センターに振り分けています。

【青柳委員】

55.3%というのは若干低いように思えますが、目標設定が高いのでしょうか。

【事務局】

目標自体が実績に対して高めに設定されており、数値としては達成するのが難しかったです。

【奥井副会長】

青柳委員の質問に関連して、そもそも市町村別の献血目標はどのように設定されているのでしょうか。

【千葉県赤十字血液センター】

千葉県全体の目標を市町村ごとの昼間献血可能人口比率に按分して決められています。千葉県全体の目標については、昨年度までの医療機関での血液使用量から設定されています。大きな市町村だと昼間献血可能人口比率が高いため、目標も高く設定されます。

また、近隣に献血ルームがある市町村については献血ルームでのご協力が多い分、市町村での献血実績が低くなってしまうことをご理解いただきたいと思います。

【奥井副会長】献血の需要と供給について

千葉県全体で血液量は足りているのでしょうか。

【千葉県赤十字血液センター】

昨年度の献血量については、目標の 103%ほどのご協力をいただきました。ただ、赤血球の量でいうと千葉県内の献血だけでまかなえていたわけではなく、少しずつ他県からの応援があって千葉県内の医療機関へお届けができています。

議題(2)市川市資料(7 ページ) 令和 6 年度 決算報告について〈保健医療課主幹説明〉

歳入については、市からの負担金が 99,000 円、前年度の繰越金が 8,080 円、合計 107,080 円となりました。

歳出については、報償費は啓発品の購入費 89,100 円、役務費は、通信運搬費が通知等の発送代金 4,736 円、手数料 770 円、合計 94,606 円となりました。

歳入に対する歳出の差額 12,474 円については次年度繰越金といたします。

【青野会長】

ご質問ご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。
「令和 6 年度決算報告」については承認してよろしいでしょうか。

【委員】

質問・意見なし

【青野会長】

それでは「令和 6 年度決算報告」については承認することといたします。

議題(3)市川市資料(8 ページ) 令和 7 年度 献血推進事業計画及び進捗状況〈保健医療課主幹説明〉

実績については、令和 7 年度 4 月から 6 月までの実施状況を反映したものとなっています。まず、市主体では延べ 4 回献血を実施し、20.7%の達成率となっております。次に、血液センター主体では延べ 15 回の献血を実施し、7.6%の達成率となっています。

全体では、換算本数の目標数が 10,929 本に対し、実績は 978 本で、8.9%の達成率となっています。

なお、市主体によるこれまでの実施状況及び今後の実施予定につきましては下段(2)の表のとおりとなります。

【青野会長】

ご質問ご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

【委員】

質問・意見なし

議題(4)市川市資料(9 ページ) 令和 7 年度 予算(案)〈保健医療課主幹説明〉

歳入について、市からの負担金が 99,000 円、前年度繰越金が 12,000 円により、歳入合計 111,000 円を計上しています。

歳出については、報償費は啓発品の購入費として 99,000 円、需要費は、事務用品等の購入費として 2,000 円、役務費は、通知文書発送代金として 8,000 円、振込手数料として 2,000 円、歳出合計も 111,000 円を計上しています。

【青野会長】

今年度の啓発品についてはどのようなものをお考えでしょうか。

【事務局】

今のところ案といたしましてはクレラップを考えています。「市川市献血推進協議会」の名前を入れたものを予定しております。

【青野会長】

ありがとうございます。他にご質問ご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【青柳委員】繰越金について

7 ページにある次年度繰越金について、9 ページの令和 7 年度予算(案)にどのように反映されているのでしょうか。

【事務局】

繰越金 12,474 円については、千円未満を切り捨てし令和 7 年度予算(案)に計上しております。

【奥井副会長】

献血の際に、採血する看護師さんや問診するお医者さんの人件費等については予算に入っていないようですが、それは市の負担ではなく赤十字血液センターの負担だから予算計上されていないという考えでよろしかったでしょうか。

【事務局】

おっしゃるとおりです。献血の事業自体は赤十字血液センターで行っていて、市としては献血の推進や普及活動を行っているため、そのための経費と考えていただければと思います。

【青野会長】

ほかにご質問ご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

「令和 7 年度予算(案)」については承認してよろしいでしょうか。

【委員】

質問・意見なし

【青野会長】

それでは「令和 7 年度予算(案)」については承認することといたします。

その他 赤十字血液センター事業について

【千葉県赤十字血液センター】

(スライド「献血について」P.1～P.6 参照)

献血の種類には、献血バスまたは献血ルームで実施している「全血献血」と、献血ルームでのみ実施している「成分献血」があります。

献血の流れとしては、採血までに体重測定や質問への回答、医師による問診が必要です。また、血液の事前検査では、以前は本採血を行わない方の腕から採血をしていましたが最近是指先から少量の血液を採って事前検査を行っています。腕に針を 2 回刺すことによる副作用の軽減や、採血をスムーズに行うために実施しています。

いただいた血液については、主にがんの患者さんの治療に多く使われ、年代別では 50 歳以上の方への輸血が多くなっています。

(スライド「献血について」P.7～P.12 参照)

令和 6 年度の千葉県の献血状況について、400ml 献血で 158,985 人、200ml 献血で 5,828 人の方にご協力をいただきました。ただ、先ほど市川市からも説明があった通り、様々な理由で不採血となった方が 27,897 名いらっしゃいました。

千葉県の総人口および献血可能人口から考えると、献血協力者数(実人数)は約 122,000 人であり、まだまだたくさんの方からのご協力が必要な状況です。また、千葉県の献血目標と実績(P.12 参照)をみると、目標の約 103%の実績となっておりますが、実際の供給状況(P.10 参照)をみても、県内の献血だけでは供給量をまかなえておらず、県外から調整をいただくことでなんとか間に合っている状況です。

(スライド「献血について」P.13～P.16)

献血バスの稼働については、1 台で 400ml は 50 人、200ml は 2 人のご協力をお願いしたい状況です。

また、人工血液などがニュースになっておりますが、まだ実用化がなされていません。血液の長期保存は難しく(P.14 参照)、継続的なご協力が必要です。

課題としては、少子高齢化を受け若年層(赤十字では 10 代～30 代を若年層としている)の献血が年々減少しています。この課題を解決するために、現在は大学等での献血実施に伴いセミナーなどを行っています。また、献血可能年齢ではない小学生や中学生を対象とした職業講話を学校で行い、赤十字の仕事紹介や血液の重要性についてお話をしています。

【青野会長】

ありがとうございました。ご質問のある方がいらっしゃいましたらお願いいたします。

【渡辺委員】

今年度の献血の 4 分の 1 ほどが終了していますが、今年度の目標を達成できるのか不安な状況に思えます。血液センター主体としての献血実施回数を増やすことは可能なのでしょうか。

【千葉県赤十字血液センター】

血液センター主体の献血としては、目標に合わせて献血バスの配車台数を計画しております。その中で「今月はもっと増やそう」「今月は少し抑えてもいいだろう」など、献血の実施結果によって決めています。

【渡辺委員】

ありがとうございます。現在事業所では丸一日献血の日として設けているのですが、在宅勤務が増えており 1 日あたりの出社している人数が今までの半分くらいに減っています。1 週間の中で 2 日間などに分けて献血を実施していただけると献血者数も増えるのではないかと考えておりまして、献血バスに余裕があるのかを確認させていただきました。

【青野会長】

他にご質問ご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【奥井副会長】

当院でも指先から血液を採って評価することがあり、指先から採血した際に貧血の疑いがあっても、いざ腕から採血するとそもそも貧血ではなかったということが時々あるのですが、献血でも指先からの採血を始めてから不採血が増えたということはあるのでしょうか。

【千葉県赤十字血液センター】

不採血率については、あまり変わりはありません。数字は把握していないのですが、指先からの事前検査の際にはヘモグロビン値が高く出ても、採血製品化時の検査ではヘモグロビン値が低く製品化が出来ないことはあると聞いています。

【青野会長】

他にご質問ご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

【事務局】

本日やむを得ない事情により欠席となりました、市川市婦人団体連絡協議会の高橋委員よりご意見を頂戴しておりますので発表させていただきます。高橋委員が先日大学生とお話をする機会があったそうで、その大学生が初めて松戸の献血ルームに行き、記念品としてモバイルバッテリーをもらったことをとても喜んでいました。

ご参考に、献血の記念品について今後検討されているもの等あれば教えていただきたいです。

【千葉県赤十字血液センター】

貴重なご意見ありがとうございます。記念品については予算の範囲内でその都度検討しているため、今後どのようなものになるかは未定です。モバイルバッテリーについては、先ほど申し上げたとおり若年層の献血が減っているということで、市内の大学で献血を実施する際にもお配りしていました。

【青野会長】

ありがとうございました。他にご質問ご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

議題等は以上になりますが、全体を通して委員の皆様よりご意見などがあればここでお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。

【委員】

質問・意見なし

【青野会長】

他にないようですので、これをもって令和7年度市川市献血推進協議会を閉会いたします。

本日はありがとうございました。

《閉会》